

〔発行〕 会長 武藤 勇

〔編集〕 広報部

〒337-0053

さいたま市見沼区大和田町1-1387-1

電話・FAX 048-687-7935

<http://oosatohigashi.sakura.ne.jp>

えがお

彩の国東大宮メディカルセンターと地域の皆様との関わり

彩の国東大宮メディカルセンター 副院長 梅本 淳



大砂土東地区の皆様こんにちは。旧「東大宮総合病院」時代から当院をご利用いただき誠にありがとうございます。当院は病院としての役割以外にも、住民の皆様に対し様々な取り組みを行ってまいりました。今回この紙面でそれについて書くようにとご依頼があり、当院と大砂土東地区住民の皆様との関わりについて以下にご紹介させていただきます。

当院は信頼される高度な医療を提供することはもちろん、住民目線に立ったこのような事業を無償で展開してまいりますのでよろしくお願いいたします。

(1) 『定期健康講座』

「定期健康講座」を大砂土東地区社会福祉協議会と同自治会連合会様との共催で年4回(1回に2講演)、東大宮コミュニティセンターで開催しています。社協・現会長の武藤勇様と相談させていただき始まった会ですが、すでに16回開催させていただき、好評を得ています。



(2) 『健康講座』 敬老会などの要請に応じた「健康講座」も年2~3回開催しています。

(3) 『救護班』

夏祭りなど自治会イベントの要請に応じて「救護班」を派遣しています。



(5) 『未来くるワーク』

「未来くるワーク」は近隣の学校からの要請で中学生、高校生を3日間にわたり受け入れ、病院という職場を体験してもらうものです。

病院で働く人の役割、社会人としての規律、マナーなどを学びます。



(4) 『病院見学ツアー』

「病院見学ツアー」を年数回開催しています。

自治会回覧板で毎回、参加者を募集しています。このツアーでは、病院の検査の実際、外来受診の仕方、入院の実際などをご説明します。



(6) 『ミニ講座』

エデュケーションセンター(病院2Fコンビニ横)で来院者に各科ドクターや看護師が「ミニ講座」を開いています。



彩の国東大宮メディカルセンター副院長 梅本淳様、ご協力ありがとうございました。



地域の安心・ふれあいネットワーク

平成 28 年 6 月 30 日大砂土東小学校体育館に於いて学校・PTA からの依頼により「地域の安心・ふれあいネットワーク」～子どもと高齢者を見守るために～を題材とした地区社協武藤会長の講演会が行われました。講演会後 6 年生児童による合唱もあり心温まる地域のつどいとなりました。

さて大砂土東地区社会福祉協議会は“子どもから高齢者まで、地域の人々の手と手がつながった、あたたかい安心して暮らせる大砂土東地区を目指します”をスローガンとし活動しています。

住民一人ひとりの福祉課題を地域全体の課題として捉え、住民同士が協議して解決を目指すことを目的とした任意団体です。

主な構成団体として自治会・町内会・民生児童委員等の団体と協力し、各種支援機関との連携を図り支援活動へと繋ぎ見守り活動を行ないます。見守り活動には下記の地域事業者様のご協力も得ております。

毎日新聞、読売新聞、LPガス事業者河本彦太郎商店、明治牛乳、雪印牛乳、配食サービスひまわり・めだか、ヨシケイ大宮、ワタミ、宅配クック 123、やどかりの里エンジュ（敬省略）

今まで単身高齢者や高齢者のみの世帯、または要援護者世帯などの方々を中心に各自治会に呼びかけ、各自治会それぞれの見守り活動をお願いしてきましたが“子どもから高齢者まで…”とあるように、子どもたちにも目を向け安心安全な地域にしたいと、大砂土東小学校の協力を得ながらモデル校になってもらい、下校時に「子どもを一人にしない見守り」を検討しています。どうぞ地域の皆様のご協力をお願い致します。



(榎本 房雄 氏 書)

民生委員・児童委員 一斉改選の年を迎えて

民生委員・児童委員は住民の立場にたってまちの福祉を担うボランティアです。法律により厚生労働大臣から委嘱された無報酬のボランティアです。担当する地域に暮らす身近な相談相手として、地域住民からの生活上の心配ごとや困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じています。そしてその課題が解決できるよう「受け止め」必要な支援へ「つなぐ」役割をします。また地域の見守り役として、定期的な訪問などを通じて、高齢者や障がい者世帯、子どもたちの見守りを行なっています。子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員（主任児童委員）も一緒に活動しています。

一斉改選

民生委員制度は、平成 29 年に 100 周年を迎えます。この大きな節目を民生委員・児童委員活動に対する社会的理解を広める機会とすべく、全国民生委員児童委員連合会（全民児連）では、全国の民児協関係者と協力して、全国的な PR 活動を進めることとしています。

又、民生委員の任期は民生委員法において 3 年と定められ、3 年に一度 12 月 1 日付けで一斉改選が行なわれます。

- 候補者選出にあたっての基本的な考え方としては
 - ・ 選出は真の適格者を推薦することを主眼として行なう
 - ・ 選出は単に地域内における役職の交代や割り振りとならないようにする
 - ・ 現在の民生委員・児童委員の中の適格者は再び選出することができる
 - 民生委員・児童委員の要件としては【年齢要件基準日：平成 28 年 12 月 1 日現在（委嘱日）】
 - ・ 新任の場合：年齢が 30 歳以上、75 歳未満の方（昭和 16 年 12 月 2 日～昭和 61 年 12 月 1 日までに生まれた方）
 - ・ 再任の場合：年齢が 75 歳未満の方（昭和 16 年 12 月 2 日以降に生まれた方）
- ※ただし、特別な事情がある場合は、理由書をもって延長 1 期を上限として 75 歳以上も可能です。（さいたま市民生委員・児童委員候補者推薦要領参照）

どうぞ宜しくお願い致します。



前原くらしサポート隊

大和田前原自治会は超高齢化社会を迎え、75 歳以上の夫婦のみの世帯や一人暮らし世帯が増えてきております。そこで、今までの自治会での見守り活動だけでなく、日常活動の積極的なサポートを行なうことにより、明るく安心な自治会を運営することを目的として、平成 28 年 2 月に発足したボランティア組織です。

企画内容については回覧でお知らせしてボランティア隊員（男性・年齢不問）を募集したところ、趣旨に賛同いただいた 9 名の方々に隊員登録いただきボランティア保険にも加入しています。内容的には日頃高齢者ができない日常での専門性を要しない肉体労働や作業（介護ではない）のお手伝いを目的としています。

例えば

- ・ 電球が切れたけど、高い所なので交換ができない
- ・ 粗大ゴミが沢山出たけど重くてゴミ捨てができない
- ・ 庭の邪魔な枝を切ってほしい
- ・ 箆箆を移動したいけど重くて自分ではできない
- ・ 簡単な柵を作って欲しい
- ・ 雪が積もって玄関から出られない…等々。



ボランティアですので費用はかかりません。部品などの購入が必要な場合は依頼者側に実費を負担していただきます。しかし今までの実績としては高齢者に遠慮の意識がみえ、2 月の降雪時に玄関周りの雪かきを実施した程度です。これからは遠慮なく積極的にサポート依頼していただけるよう日頃から声をかけて PR 活動をしていきたいと思っています。又実績を重ねた上で、女性でないといけない活動や親近感のある女性隊員の募集も検討中です。

大砂土東地区民児協の活動方針

大砂土東地区民児協は現在、民生児童委員 51 名（欠員 3 名）、主任児童委員 3 名で活動しています。毎年活動方針を掲げ委員同志の連携を図りながら、民生児童委員、主任児童委員として、暮らしやすい住み良い地域にするために何をしたらいいのか考えながら行動しています。

例えば今年度 28 年度の活動方針をご紹介します。

平成 28 年 2 月大砂土東地区民児協活動方針

平成 28 年 2 月 4 日
大砂土東地区民児協
会長 野崎 宏昭

大砂土東地区民児協として、今年は地域福祉の 3 つの大きな課題にチャレンジしてまいります。この 3 つの課題に対して民生委員・児童委員・主任児童委員としてどのように関わりあえるかが問題点となります。

大砂土東地区民児協の委員全員が共通の意識を持ってこの 3 つの課題に取り組んでいきたいと考えています。ご協力宜しくお願い致します。そこで、大砂土東地区民児協として共有できる案を各専門部会でまとめて…

（平成 28 年 2 月大砂土東地区民児協定例会資料より抜粋）

上記のような方針と共に課題を掘り起こし、会長・副会長で検討し委員が活動しやすいように配慮しています。

右の写真は平成 28 年 5 月 13 日にさいたま市民生委員児童委員大会が開催され、民生委員児童委員の活動が通算 17 年以上の者として表彰を受けた 3 名の方々です。おめでとうございます。



榎本泰子（18 年） 鈴木治美（19 年）
京村まき子（18 年）

健康講座開催
＜東大宮コミュニティーセンター 5月18日＞



講師：大西喜美子
健康管理科 部長



講師：小正 樹
救急科

公民館のつどい・つくしの会チャリティ
＜大砂土東公民館 5月21日＞



05/21/2016

第12回 定期総会開催
＜大砂土東地区社会福祉協議会事務所 5月22日＞



太極拳講習会開催
＜大宮武道館 6月15日＞



地域のつどい
＜大砂土東小学校体育館 6月30日＞



世代間交流事業開催
＜鳥小学校体育館 7月28日＞



***** **ご協力ありがとうございました** *****

大砂土東公民館ふれあいバザー収益金 93,107円
堀崎町ゴルフ凡人会様 10,000円

※公益信託加藤記念老人福祉基金様から補助金をいただき印刷機を購入しました

編集後記

地域福祉推進委員会が6月に有り、平成22年から始まった「見守りネットワーク事業の報告」と今年の初めから取り組んでいる「下校時に子どもを一人にしない見守りについて」の活動報告がありました。内容については「えがお30号」で掲載しましたが、今後は具体的にどうしたら地域の協力をえて実施出来るかの時期ですとの報告が有りました。今年の12月は民生児童委員の改選期です。当地区には54人（欠員3名）の民生児童委員がおり当社協の協力員として色々なボランティアとして活動しております。ただ近年高齢化の世代となりボランティアのなり手も少なくなっておりますので、「健康で体力と時間的に余裕のある皆様方のご協力をお待ちしております。」